

平成 29 年の幕開けはとても穏やかで暖かいお正月となりましたが、1 月中旬には日本列島が寒波に襲われ冬らしい寒い日が続きました。しかし、2 月になり太陽の光に力強さが増してきたように思います。ロシアでは 2 月を「光の春」と表現するそうですが、まさに立春と共に春がもうすぐそこまで来ています。

1 月から 2 月にかけては新年度予算の編成時期です。

産業振興、雇用の確保、山と農地を守ること、子育て支援、医療福祉の確保と課題が山積する中、「今やらなければ東白川村の未来は無い」という覚悟をもって、今年も厳しい財源の中ではありますが幹部職員共々知恵を絞っております。

平成 29 年度の予算編成の方針は

- 1) みのりの郷東白川株式会社の運営を軌道に乗せ、集落営農の推進、農業サポート事業(ライスセンター、機械化作業等)白川茶の販売促進など農業基盤の再構築を図る事業を積極的に展開することにより、農地を守りつつ村民の所得の向上および雇用の増大を目指す。
- 2) 医療福祉ゾーン整備計画の第一期事業年度とし施設整備計画を確実に実施する。
- 3) 神土、五加交流サロンの運営を支援するとともに、越原地区に交流サロンを整備する。
- 4) 子育て支援の充実を図り、子育てに優しい村と女性の社会進出を促進する。
- 5) CATV の光ファイバー化の計画樹立を行い、情報過疎に陥らない村を目指す。
- 6) 官民協働の美しい村づくり政策を充実するとともに、真の協働の村づくり体制を推進する。
- 7) 村内産品販売事業の推進やアンテナショップの充実を図り、所得の向上と人口増加を目指す。

以上、この 7 つの重点項目を柱に編成いたしており、3 月の議会での審議を経て「元気の出る東白川村」を目指して新年度も邁進して参ります。

さて、就任以来、村政の重要な課題の一つとしておりました医療福祉ゾーンの整備計画の大要がまとまりましたので、直接村民の皆様にご説明することと、次年度以降の村政に対するご意見を伺う場として、村内 6 会場で集落座談会を開催致します。

集落座談会は私が村長に就任した年である平成 26 年の秋に開催し、村政運営の思いをお話するとともに、村政への要望をお聞きして参りました。

全てのご要望に応えることは叶いませんでしたが、この 3 年間、常に心に留め実現への努力をして参りました。今回の座談会でも村政全般に対するご意見やご要望を伺ってまいりたいと思っています。

立春とはいえまだまだ寒い日が続きます。インフルエンザも猛威をふるっているとか、くれぐれも体調管理には気をつけて頂きながら、「光の春」に続く「音の春」「暖の春」を待ちたいと思います。

平成 29 年 2 月

東白川村長 今井俊郎